GOOD CARE NURSE

2024 年 2 月発行

第 13 号

毎日、寒さが続き、インフルエンザが流行していますが、職員の皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度２回目の「GOOD CARE NURSE」新聞は、がん看護についての特集です！がん診療連携拠点病院である当院のがん看護外来、がん相談支援センター、診療報酬のことなど、佐藤緩和ケア認定看護師、内村がん看護専門看護師、白川「緩和ケア認定看護師にインタビューしていますので、どんなことをされているのか知ってくださいね。

がん相談支援センターは？

- 全国のがん診療拠点病院にある「がんの相談窓口」
- 無料で受けることができる
- 治療している病院ではなくても相談できる
- がん患者さん本人だけでなく、家族、友人、地域の人々など誰でも相談できる
- 相談内容の秘密は守られる
- 対面相談と電話相談がある
- がんに関する研修を受け、知識を持った相談員が対応している

がん相談支援センターの主な役割

- がん診療及びがんの予防・発見などに関する一般的な情報の提供
- セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介
- がん患者の療養上の相談
- 就労に対する相談（産業保険分野との効果的な連携による提供）
- アスベストによる肺がんおよび中皮腫に関する医療相談

がん看護で加算されている診療報酬

- 緩和ケア診療加算（緩和ケアチームラウンドにて算定）
- 外来緩和ケア診療加算（麻薬処方されている患者のみ）
- がん患者指導料（イ）500 点、（ロ）200 点

がん看護専門看護師の役割

- がん相談：がん拠点病院として、当院の患者だけでなく、院外の方からも電話や対面での相談　約 70～100 件/月
- がん看護外来：乳腺、腫瘍内科、外科、呼吸器外科の病名告知や、病状説明の同席
- 緩和ケアチームカンファレンスやラウンドの参加
- 継続看護ラウンド：がん看護外来で担当している患者の入院時や外来受診時介入
- がんサロン（3 ヶ月毎）：がんサロンとは、がん患者（がんサバイバー）やその家族が集まり、交流、情報共有や勉強会実施。運営のお手伝いをしている。

緩和ケア認定看護師の役割

- 患者の困りごと、病棟の困りごと、主治医の困りごとなど直接確認し、ケアや薬剤調整を行う。
- 患者や家族とのかかわりに難渋する症例など医療者カンファレンス
- 患者や家族への直接的看護ケア（意思決定やこれからの過ごし方への提案や、心理的サポート。
- 緩和ケアスクリーニング対応。
- がん看護外来（医師の IC 同席、Bad ニュース時の心理的サポートなど）
- デスカンファレンス参加や助言

緩和ケア認定看護師・がん専門看護師を目指した理由？

内村さん

10 年近く看護師として働き、出産した後、がんの患者に関わる機会が多かったこともあり、専門看護師を目指しました。がんサバイバーの患者さんは常に、再発や進行を心配しています。その中で、心に残った患者さんはインドの方で、30 代と若く乳がんを患っていました。患者面談すると、いつも泣いていました。どのように関わればいいのか、悩みながら再発時の告知や看取りまで支援しました。お葬儀にも参加し見送ることができました。悩みながらも関わり、その患者さんや旦那さんとの出会いが心に残っています。

白川さん

他の病院で血液内科の病棟で働いていました。がんの症状に苦しむ患者さんを見ながら、何かできないかと思っていました。その時、緩和ケア認定看護師という認定看護師制度ができたことを所属の師長から教えてもらい受験しました。働いていた病院では、緩和ケア病棟はありましたが、緩和ケアチーム活動がなく、チーム活動に興味があり、看護師として働ける時間も短くなってきたので、今しかないと当院に転職しました。

佐藤さん

患者さんや家族のために最期まで寄り添える資格が欲しかったからです。自分自身も 20 代で病気を経験し、人生を見直し、やり残したことを考えた時、あこがれていた先輩の様に「緩和ケア認定看護師」をやってみたいと思ったからです。労災病院にスキルアップの支援があると知り転職しました。専任看護師として、緩和ケアチームの運営や看護外来、相談支援業務を行いながら、外来から入院と隙間なく患者さんや家族と一貫して関わりを継続できることを楽しみながら実践できています。

佐藤看護師、白川看護師、内村看護師からのメッセージ

私たち看護師が最期まで患者・家族に寄り添うこと、共感することが、つらい病気と向き合うことが出来ることに繋がっています。寄り添う中で、これでいいのか？と悩むときは、一人で悩まず、いつでもリソースに相談してください。

がん看護に興味のある方は、ぜひとも認定看護師・専門看護師を目指してほしいです。

次回は Best Nursing 賞ついて 14 号発行予定です。
コメディックスで皆様からの意見をお聞かせください。
皆さんからの自薦、他薦は問いません「いいね！」情報をお待ちしています。　発行元：看護部定着活動委員会